

タワー型濾過槽 取扱説明書

本日は、当日海センター オリジナルタワー型ろ過槽をお買い上げ頂き誠に有り難うございました。末長くお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、大切に保存されますようお願いいたします。

-特長- 日海センターオリジナルタワー型ろ過槽は、通常水槽内にある、ヒーターを、ろ過槽内に収納、オプションにて、ヨウ素殺菌筒、嫌気筒等も収められる画期的なろ過槽です。水槽のサイドに設置するため、水槽上面も広く使え、水槽のメンテナンスがしやすくなりました。照明も全面にあてられます。

<1> 各部品の名称、を確認してください。
(図1参照)

配水パイプ
(ろ過された水が出てく

図2

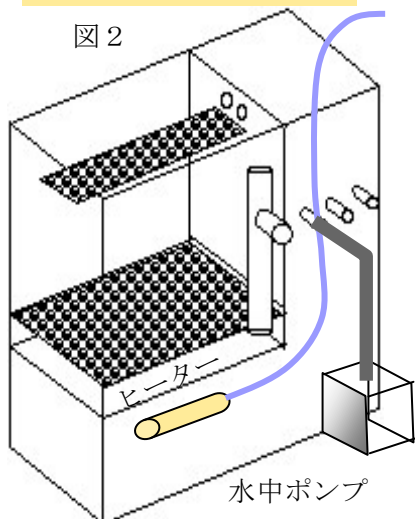


図3

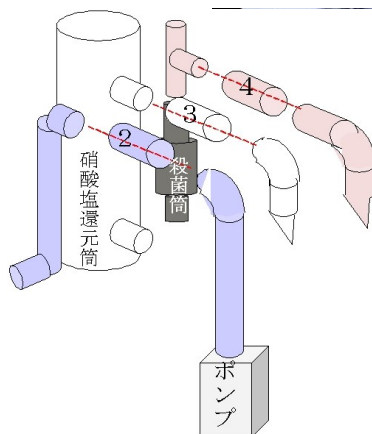
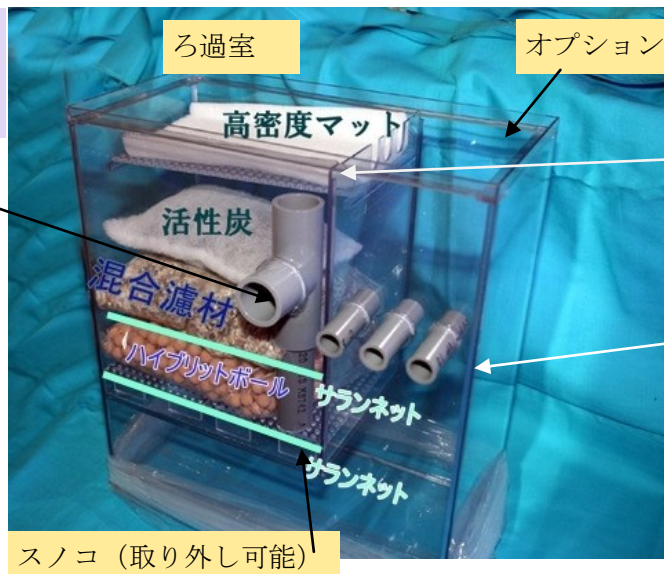


図4



ろ過室

オプションパーツ室

高密度マット

活性炭

混合濾材

ハイブリットボール

ガラネット

ガラネット

スノコ (取り外し可能)

とよ (取り外し可能)

1本は 吸水パイプ
残り2本は オプション
パーツ (殺菌筒、デニ
ボール等)
取り付け用パイプ

図1

<2> ろ過槽に(図2参照)揚水ポンプ、ヒーター、配管をセットします。

(1) まず ろ過槽本体、をよく水洗いしてほこり、バリ(切屑)などを落とし、水槽の横又は背面に設置します。高さがあわない場合は底が平らな物で底上げて下さい。セット場所は直射日光が当たらない所にして下さい。直射日光が当たりますと紫外線により、ろ過槽は劣化、ひび割れ漏水する恐れがあります。

(2) ヒーター(ヒーターカバーをして下さい)とセンサーをろ過槽本体の”オプションパーツ室”の底深く沈め横にして置きます。ヒーターとセンサーは出来るだけ離して下さい。ヒーターを電子センサーと接続します電源はまだ入れません
ヒーターは必ずヒーターカバーに入れて御使用ください。カバー無しでの御使用は、熱によりろ過槽が変形、ひび割れ、漏水すし、火災発生の恐れがあります。

(3) 図2のように水中ポンプを配管します
揚水ポンプの電源はまだ入れません。

(4) オプションパーツ(殺菌筒、硝酸塩還元筒)を取り付ける場合は、残りの配管にセットして下さい。
詳細は図3 図4を参考にしてください。
詳細は 別紙 硝酸塩還元筒説明書をご覧ください
取り付けない場合は配管にエンドキャップをして下さい

< 2 > ろ過室にろ過材及びマットをすのこから順番にセットします。(図3参考)

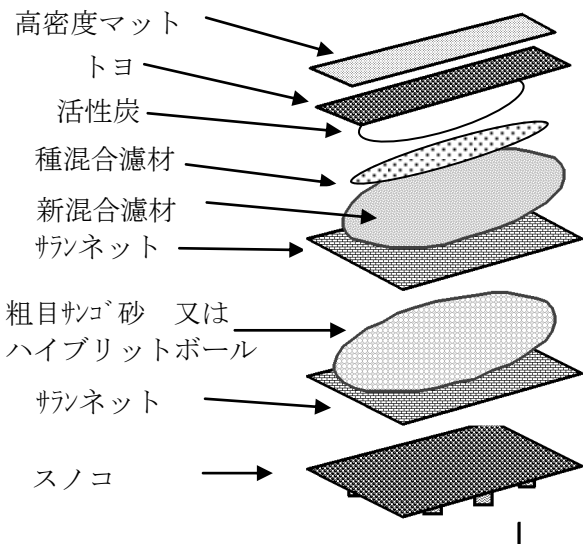
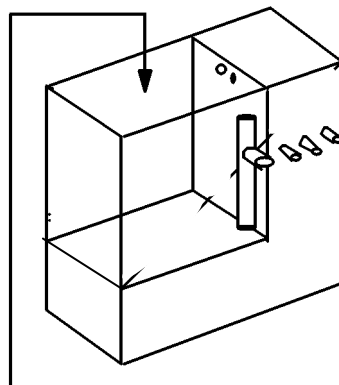


図3



< 3 > ろ過槽に海水(水)を入れます。

揚水ポンプの電源をいれて、ろ過室とオプションパーツ室の両方に飼育水を張ります。濾過槽に飼育水が満タンになったら揚水ポンプを一旦止めます。

< 4 > ろ過槽にバクテリア(商品名'スーパーバイオ')を入れ水を循環させます。

バクテリアは活性炭をよけて、直接混合ろ材に入れて下さい。そのまま2~3分待つてから、揚水ポンプの電源を入れて水を循環させます。水の循環が確認出来ましたら、ヒーター(サーモスタット)の電源を入れて下さい。この時、水が白濁しますが、数時間で透明に戻ります。

電源が入っているヒーターとセンサーは絶対

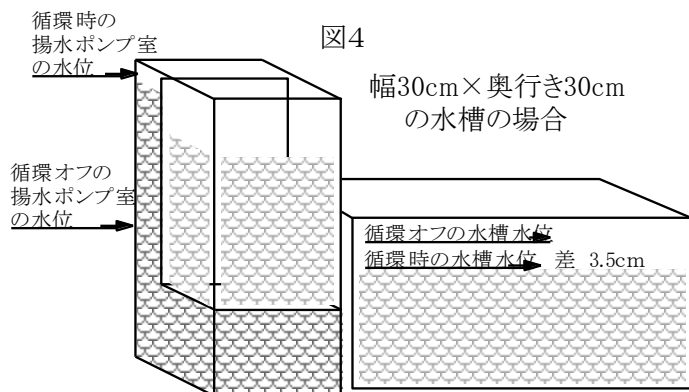
対に水中から出さないで下さい。破損、火災の恐れがあります。

< 5 > 水槽の水位について

このタワー型ろ過槽は揚水ポンプの電源をオフにした時、ろ過槽の水の一部が水槽に戻り、水槽の水位が上がります。(30x30水槽面で約3.5cm)

従いまして、水が循環している時の水槽水位はその分 下げて下さい。

水槽の水が満水状態で、電源をオフにすると、水槽から水が溢れます。



< 6 > ろ過槽のメンテナンスについて

--活性炭のメンテナンスについて--

高密度マットは汚れ次第・・・活性炭は2~4週間に一度、新しいものと交換します。

--ろ過材のメンテナンスについて--

常時飼育されている生物の大きさ、数、あるいは餌のあげ方、あげる量等のさまざまな条件に伴い、ろ過材のメンテナンス時期は一概にはいえませんが、3ヶ月・・・延ばしても4ヶ月に一回はろ過材のオーバーホールを行きましょう

オーバーホール方法は、その時期が来ましたら当店にお訪ねください。

--警告--

*ろ過槽を移動するとき、ろ過材、水等をはったまま持ち上げたり移動させないでください。

本体が歪み漏水する恐れがあります。

*ストーブやヤカンなど熱いものを、ろ過槽に近づけないでください。

ろ過槽をシンナーやその他薬品で拭いたりしないでください。

熱や薬品により変形、ひび割れ、漏水する恐れがあります。

*ろ過槽にご自分で穴を開けたり、加工を加えないでください。

本体の強度が低下し、破損、漏水の恐れがあります。

*セット場所は直射日光が当たらない所にして下さい。

直射日光が当たりますと紫外線によりろ過槽は劣化、ひび割れ漏水する恐れがあります。

硝酸塩還元筒（オプションパーツ）説明書

本日は当店 硝酸塩還元筒をお買い上げ頂き有難うございます。末長くお使い頂くため、この取扱説明書を良くお読みになり、正しくお使いください。

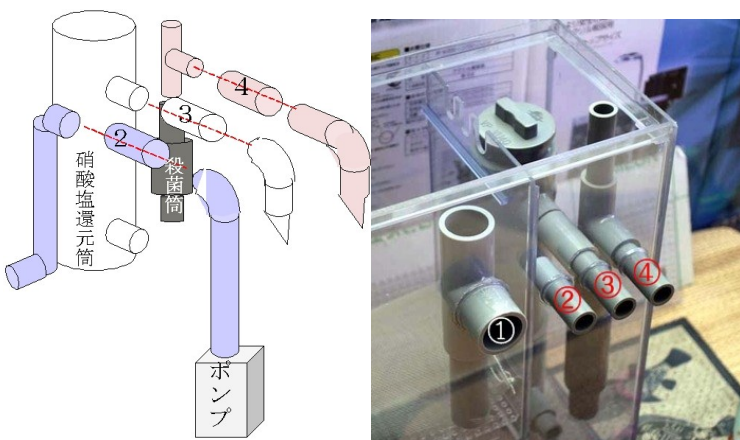
<特徴>

生分解樹脂（デニバイオチップ）と脱窒菌（通性嫌気バクテリア）と ハイブリットボール濾材をこのオリジナル硝酸塩還元筒に入れ込み 脱窒菌による還元作用を実現。

生体全般、特にイギンチャク、サンゴ類、甲殻類に有害とされる硝酸塩を還元分解し、水槽内を良質な水質に保ちます。

1 本体を タワー型 濾過槽にセット

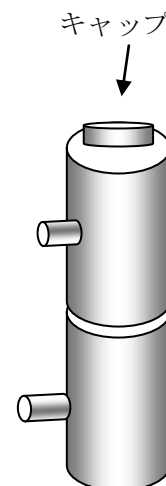
配管③にセットします。



2 本体に デニバイオチップ等をセット

デニバイオチップ と ろ材（ハイブリットボール）を適当な容器（料理用ボールやお茶碗等）にすべて入れ、リダクションバイオをかけ全体に染み込ませます。この時 少々臭いがする事がありますが、問題ありません。

キャップを開け、上記のしみこませたものを、順番は関係なく すべて本体に入れます。



セット後のメンテナンスについて、

★デニバイオチップの追加

本体に入れた、デニバイオチップは通性嫌気バクテリアにより還元分解され、減っていきます。定期的にデニバイオチップを追加してください。デニバイオチップの減り具合は、個々の水槽（ろ過サイズや飼育生体数）によって異なりますので、一概に言えませんが、3～4ヶ月に一度はキャップを開け減り具合を確認するとともに、数本でも入るようでしたらデニバイオチップを数本追加してください。

尚 ろ材（ハイブリットボール）や 硝酸塩還元筒本体を 定期的に取り出し 洗浄する必要はありません。

★硝酸塩還元筒の通水の確認、

時折 通性嫌気バクテリアの還元作用により 溶けていくデニバイオチップが 排水口に溜まり 硝酸塩還元筒から 排出される飼育水が **著しく少なくなる場合** 又は **完全に排出が止まっている場合** があります。

もし **循環が完全に止まっていた場合**は、この取り扱い説明書の背面 ” 硝酸塩還元筒 使用上の注意 ” を参考に 対処してください。

排出される飼育水が 著しく少なくても 完全に止まっていない場合は キャップを開け、排出口付近を 細い棒か 指等で 少し いじると 排水口に溜まりが解除され、通常の循環量に戻ります。

硝酸塩還元筒の使用上の注意点 と メンテナンス

● 魚の病気の治療時の注意

硫酸銅などの無脊椎動物に有害とされる薬品は 通性嫌気バクテリアにも大きなダメージを与え、硝酸塩還元効果が得られなくなる事があるため、上記のような薬品の投与は行わないでください。

尚、病気治療に有効な **ラクトフェリン** や **フコイダン**、**白点キラー(サンゴ用)** は **通性嫌気バクテリアに無害である事が確認されています。** 従いまして、**硝酸塩還元塔を回した状態で 使用して頂いてOKです。**

● デニバイオチップの追加

本体に入れた、デニバイオチップは通性嫌気バクテリアにより還元分解され、減っていきます。定期的にデニバイオチップを追加してください。デニバイオチップの減り具合は、個々の水槽（ろ過サイズや飼育生体数）によって異なりますので、一概に言えません。3～4ヶ月に一度はキャップを開け減り具合を確認するとともに、数本でも入るようでしたらデニバイオチップを数本追加してください。

尚 **ろ材(ハイブリットボール) や 硝酸塩還元筒本体を 定期的に取り出し 洗浄する必要はありません。**

● 日々の硝酸塩還元筒の通水確認

硝酸塩還元筒が 溶けたバイオチップのつまり などによって 硝酸塩還元筒から排出される 循環量が著しく 少なくなっている場合があります。その状態を 放置すると、完全に通水が止まってしまう場合がございます。

通水が止った状態が続くと、硝酸塩還元効果が得られないだけでなく、突如 硝酸塩還元筒が 自然に開通した際に、完全に腐敗したものが 硝酸塩還元筒から水槽に流出し、水槽内の生物に、多大な悪影響を及ぼし、時には 生体が死に至る事があります。このような事が起こらないよう、日々、硝酸塩還元筒の通水が行われている事の確認を お願いいたします。

循環量が著しく 少なくなっている場合は 硝酸塩還元筒の キャップを開け排出口付近を 細い棒か 指等で 少し いじると 排水口の溜まりが解除され、通常の循環量に戻ると思われます。

● 硝酸塩還元筒の通水が完全に止まっていた場合

硝酸塩還元筒の 使用中、ポンプの不具合や 何らかのつまり などによって 通水が止っていた場合は、タワー型濾過槽の循環ポンプの電源を切り下記の方法を参考に、**硝酸塩還元筒**のご使用を再開してください。

再開方法

硝酸塩還元筒の循環が止まっていて いつから止っていたかわからない場合 タワー型ろ過槽の循環ポンプを切り **硝酸塩還元筒**のキャップを開けて、硫黄臭（悪臭）の有無を確認してください。

硫黄臭がする場合は①へ

硫黄臭がしない場合は②へ

①硫黄臭がする場合は**硝酸塩還元筒**内の水が完全に腐敗している恐れがありますので **硝酸塩還元筒**の中の水が水槽内や濾過槽内に流出しないよう 周りにタオルを置くなどして **硝酸塩還元筒**を取り外してください。（この作業中、硫黄臭がする事があります。）

硝酸塩還元筒から完全に腐敗している**排水が 水槽、或いは 濾過槽に入ると 生体に 悪影響を及ぼし、時には 生体が死に至る事がありますので 注意してください。**

次に **硝酸塩還元筒**の中身（デニバイオチップ・ハイブリットボール）を バケツ等に取り出し、飼育水で 臭いがなくなるまで 洗浄してください。**硝酸塩還元筒**の本体内側も 水道水で良く洗浄してください。

終了しましたら 先ほどの取り出し洗浄した中身にリダクションバイオ加え **硝酸塩還元筒**に戻し 必要に応じて デニバイオチップを追加して、再セットしてください。リダクションバイオが手元に無い場合は、後日添加して頂いてもOKです。

②硫黄臭がしない場合は 問題がありません。

排出口付近を 細い棒か 指等で 少し いじると 排水口の溜まりが解除され、通常の循環量に戻ると思われます。

尚 御不明な点は 弊社までご連絡ください。

042-791-0301



194-0037 東京都町田市木曽西4-5-1
TEL042-791-0301 ネットショップnikkai-web.com